

全国小学生大会へ参加される皆様へ

公益財団法人日本ハンドボール協会  
育成委員長 竹内貞明（前小学生専門委員長）

第34回全国小学生ハンドボール大会へのご出場おめでとうございます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の影響で全国小学生大会が中止となり、多くの子供たちが涙をのみました。今年度も大会開催自体が厳しい状況の中、京田辺市と協議の上、感染対策に万全を期し、大会主催者として、緊急事態宣言及びまん延防止対策地域からの大会出場を認めることといたしました。

私が小学生専門委員長時にも、全国小学生大会の開催にあたり、委員の皆様と多くの議論を重ねましたが、この感染対策判断基準の難しさを痛感いたしておりました。

インターハイや全国中学生大会においても感染対策に万全を期し、全国から選手の受け入れを行うことから、小学生大会においても「地域の差別なく全国出場を目指して頑張ってきた子供達を受け入れてもらうべく」、ぎりぎりまで対応を検討し、最終的にQ&Aの内容変更を余儀なくされたことをどうぞお許してください。

また、選手と同様に、地域規制を行うことにより、大会運営に係るレフェリー、マッチオフィシヤルやテクニカルデレゲート、大会役員等も開催地に入ることができなくなる恐れもあるため、大会運営自体にも影響を及ぼす可能性もありました。

当初、無観客開催も検討いたしましたが、小学生のコロナ対策を実施するためには、保護者の帯同無くして移動管理ができません。そのため、春の全国中学生大会のチーム応援人数を参考に、動線の配慮や感染対策を確認して、開催地である京田辺市様に各チーム30名までの会場入場を配慮していただきました。

6月25日に事務局から配信した内容から、7月7日に追加配信した内容が180度方針変更となったことにより、多くの皆様が疑問に思われることも承知いたしておりますが、どうぞこのことにより、誹謗中傷やチーム排除が起きず、安心安全で楽しい全国小学生ハンドボール大会が開催されることを心から願っております。

参加される皆様は、どうか苦渋の選択、決断であった事をご理解いただき、それぞれが感染対策をしっかりして大会に臨んでいただけますようお願い申し上げます。

令和3年7月7日